

【表紙】

# 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

### 1 【主要な経営指標等の推移】

--	--	--



## 計測機器事業

計測機器事業は、国内・海外ともに増収となりました。ヘルスケア領域で液体クロマトグラフや質量分析システム、グリーン領域でガスクロマトグラフ、マテリアル領域で試験機が増加しました。

また、昨年9月に連結子会社化した島津ダイアグノスティクス株式会社の業績も寄与しました。加えて、部品・部材不足の緩和による生産回復や、前年の中国ロックダウンの反動増もありました。



(2) キャッシュ・フローの状況















【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】



The image shows three horizontal blue bars of varying lengths, positioned in the upper left quadrant of the page. These bars appear to be redactions of data from a table. The top bar is the longest, the middle bar is slightly shorter, and the bottom bar is the shortest. They are all aligned to the left edge of the page.





【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、Shimadzu Future Innovation投資事業有限責任組合を組成し、連結の範囲に加えています。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額はつぎのとおりです。Inn 額は 億。





(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報







- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。